【機密性1】

資料3

議題3

令和2年度支部保険者機能強化予算(案)について

1. 医療費適正化対策経費 企画部門関係

事業名	1 乳幼児医療費助成対象者へのジェネリック医薬	薬品	使用啓発		
実施概要	ジェネリック医薬品の使用割合の低い加入者層(軽減として、"公費助成対象者(なかでも、該当者数の最もフレット・ジェネリック希望シールを配布することで、ジ和歌山県と連名のジェネリック医薬品啓発リーフレット 受療証発行・更新等の案内時に、対象者及びその扶	,多し エネ・ を/	・乳幼児医療到 リック医薬品の F成、県内自治	費助成対象 D周知・使力 分体に配布	な者)"に対して、啓発リー 用割合の向上につなげる。 「し、乳幼児医療費助成の
期待される効果	県内自治体では乳幼児医療費助成の年齢基準で最 1割がジェネリック医薬品へ切り替えると、対象者のな み。				
	新規事業		科目	予算額	算出根拠
		経費	印刷製本費	1,100,000	@10×100,000(部数)×1.1(消費税)= 1,100,000円
本年度の 実施状況		の内訳	郵送費(自治体への郵送費)	69,000	@2,300×30=69,000円
			合計	1,169,000	
	変更なし		ļ		
前回評議会からの変更点					

1. 医療費適正化対策経費 企画部門関係

事業名	2 バス車内TVフォト広告(ジェネリック医薬品、限	度額	適用認定証	の利用促済	<u>進</u>)
実施概要	和歌山県の二大総合病院である「日赤和歌山医療セする乗客を対象に、停留所到着時、運賃表示器に「ジ知広告を表示し、それぞれの使用割合の向上につな	゛ェネ	リック医薬品		
期待される効果	高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用 限度額適用認定証の認知度並びに使用割合の向上	_	の向上。		
	本年4月から8月までは「ジェネリック医薬品」、9月から翌3月までは「特定健診受診」広告	経費	科目	予算額	算出根拠
			委託費	694,629	 (前年度料金4停留所掲出料金一式、製 作施工費込 631,481円×1.1(消費税)=
本年度の 実施状況		の内訳			694,629円
		н/ \	A=1	001000	
	 委託金額の変更:700,000円→694,629円		合計 ————————————————————————————————————	694,629	
前回評議会からの変更点	ДПП III (1,020)]				

1. 医療費適正化対策経費 企画部門関係

事業名	3 バス車内放送広告(ジェネリック医薬品啓発)				
実施概要	停留所到着時に、「ジェネリック医薬品使用促進」に係薬品使用促進に対する啓発を行い、支部におけるジェ(令和2年4月~令和3年3月)				
期待される効果	ジェネリック医薬品使用における加入者・事業主の意意 支部におけるジェネリック医薬品使用割合の向上。	哉啓	発。		
	新規事業		科目	予算額	算出根拠
大矢笠の		経費の	委託費	396,000	@30,000×12か月×1.1=396,000 円
本年度の 実施状況		内 訳			
			合計	396,000	
前回評議会からの変更点	乗客の耳に残るようなフレーズの検討。(協会職員でま 音声広告を行う停留所の設定。(和歌山駅利用者が多 実施期間は2019年12月29日~2021年12月28日の2年	, [1]		うを予定)	

2. 医療費適正化対策経費 業務部門関係

事業名	4 健康保険事業にかかる小冊子の作成および酉	己布			
実施概要	加入者個人への健康保険制度の周知用冊子の作成 傷病手当金、限度額認定証、高額療養費、任意継続 せ項目や、資格喪失後の国保を含む健康の選択肢に ま不利益を被らないことを目的とする。	、健			
期待される効果	・郵送化率の向上。・資格喪失後の制度の認知度の向上。・保険証回収率の向上。				
	新規事業		科目	予算額	算出根拠
		経費	印刷製本費	467,000	('@45×5,000(部数)+200,000(デザイン料))×1.1(消費税)=467,000円
本年度の		の		小冊子はA	5、両面カラーの16ページで試算
実施状況		内訳			
			合計	467,000	
前回評議会からの変更点	当初案よりページ数を倍増した。 使用数(健康保険委員2,100名 + α (事業所訪問、各 ※近畿ブロック支部で協働で冊子を作成することも検			ト等))	

3. 広報意見発信経費 紙媒体による広報

事業名	6 支部の取組事業をまとめた冊子の作成(事業)	主、事	事業所担当者	·向け)				
実施概要	支部の基本情報(加入事業所、加入者数等)及び、わかやま健康づくりチャレンジ運動、健診・保健指導の実施、ジェネリック医薬品使用促進、インセンティブ制度等にかかる広報内容をまとめた冊子を作成し、事業所訪問時等に提供。 各事業を一括して案内することで、より理解を得やすいツールとして活用する。							
期待される効果	事業所訪問における支部事業への理解向上。 全体をまとめた冊子にすることで、各事業間の関連も示しやすくなる。また、冊子化することで事業所サイドにとっ							
	新規事業		科目	予算額	算出根拠			
		経 費	印刷製本費	319,000	(@140×1,000部)+デザイン費 150,000=319,000円			
本年度の		の内						
実施状況		訳						
			合計	319,000				
	変更なし							
前回評議会か らの変更点								

事業名	9 地域情報誌での広報(ニュース和歌山)							
実施概要	新聞全国紙に折込み、県内北部の15万世帯に配布される地方情報紙(ニュース和歌山)の一面広告スペースに広報記事を掲載し、保健事業・ジェネリック医薬品の促進等の情報提供を図る。							
	和歌山市、岩出市、紀の川市、海南市、紀美野町の新聞全国紙に抜	₹ ₩ ★₩	1 中心的な誌:	孝 届が30~60ℓ	+の今社員お上び配偶者であるつ -			
期待される 効果	リーペーパーに広報記事を掲載することで、協会けんぽ加入者層にまた、ツイッターやインスタグラムでも記事が発信されるため、SNSIが読める。	広く情	報発信を行うこ	とができる。				
	新規事業		科目	予算額	算出根拠			
		経費	広告料		@120,000×4(回数)×1.1(消費税) =528,000円			
本年度の		の内						
実施状況		訳						
			合計	528,000				
	変更なし			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
前回評議会か らの変更点								

事業名	10 地域生活情報紙での広報(リビング)				
実施概要	女性向け地域生活情報紙(フリーペーパー)「LIVING会けんぽの事業周知を図る。配布部数15万部(各戸16,550部。職域配布1,905部。その他1,345部)				
期待される 効果	和歌山市近隣地域及び、職域、その他の和歌山県内という特性から、地域を絞ったイベントや健診等の広				に絞ったチラシ折込も可能
	毎月1回広報計画に基づき12回分実施		科目	予算額	算出根拠
	(健診及び保健事業案内、協会けんぽイベント案内、インセンティブ制度等の周知、情報提供)	経費	広告料	528,000	半3段(@40,000×1.1×12回) =528,000円
本年度の 実施状況		の内訳			
		八			
			合計	528,000	
	変更なし	!		-	
前回評議会か らの変更点					

事業名	11 バス車両広告による広報								
実施概要	和歌山市内のバスにラッピング広告を掲載し、「健診受診促進」広報を行う。 和歌山県内の人口の約40%は和歌山市に在住しており、市内を走るバス広告は効果的。 和歌山県は車社会と言われており、電話広告より公道を走るバスのラッピング広告は有効と考える。								
期待される 効果	健診受診率の増。								
	本年4月からバス車両1台左側面に掲載。		科目	予算額	算出根拠				
		経	委託費	330,000	側面広告 年間 300,000円×1.1 =330,000円				
本年度の		費の内	委託費	198,000	制作施工撤去料金 180,000円× 1.1=198,000円				
実施状況		訳							
		±±6 → v	合計	528,000	のたてがたしい				
前回評議会か らの変更点	令和元年度に引き続き令和2年度も実施。制作施工要。	撤去	料金について	は広報物(刀施工撤 去かなけれは不				

事業名	12 県広報誌への広報				
	和歌山県の広報誌「県民の友」紙面内広告を活用 進及び保険料率改定の案内等、周知・情報提供を		诊及び保健事	業案内、ジ	ェネリック医薬品の使用促
実施概要					
期待される 効果	和歌山県全域を網羅する地方紙が無いため、効率 することができる。	を的に加	入者及び事	業主に、直	接事業案内や情報提供を
	令和元年度は11月、4月の2回を予定。 →令和元年11月分・「集団健診案内」		科目	予算額	算出根拠
	→令和2年4月·「健診受付案内」	経費	広告宣伝費	770,000	中面下段縦6cm×横18cmサイズ(@ 350,000円×2回×1.1)=770,000円
本年度の		の			
実施状況		内訳			
			A=1	770.000	
	変更なし		合計	770,000	
前回評議会か らの変更点					

, , , , ,						
事業名	14 健康経営促進セミナーの実施					
実施概要	和歌山県との共同運営となった健康宣言 入者・事業主に直接アプローチするなどの 営優良法人への認定企業の増加、和歌山 運動としての機運を盛り上げるもの。	つ一層の周知	を図	る。また、チ	・ヤレンジ運	動登録事業所から健康経
期待される効果	・健康宣言「わかやま健康づくりチャレンシ・健康経営優良法人認定制度(中小企業・和歌山県との協定に基づく健康づくり事	部門)の認定	1社数	女の増加。	事業所の	登録数の拡大)
	令和元年度の実施については調整中。			科目	予算額	算出根拠
	平成31年3月18日開催分 48名出席。		経費	賃借料	•	会場備品借料一式
本年度の	講師①:株式会社ミナケア 山本雄士氏 講師②:近畿経済産業局 課長補佐 日	村健二氏	の内	委託費	200,000	講師派遣にかかる委託費 1人 100,000円×2名
実施状況		藤良隆氏	訳	委託費	396,000	案内チラシ、封筒、封入封緘費用
				合計	746,000	
前回評議会か	会場費を100,000円→150,000円に変更 講師派遣にかかる委託費を1人→2人に変	5更				
らの変更点						

事業名	15 TV局のスポットCMの活用による広報						
実施概要	地元TV局のCM枠に提供し、大規模イベントに合わせ聴率の望める有望な番組に、15秒CMを放映するもの		団特定健診	の募集案内	7を中心に広報を行う。視		
期待される効果	無料の集団健診受診者の増。広報の担い手である広協会けんぽの開催するイベントセミナーでのTV報道は				の関係構築。		
	9月1日~9月30日まで、テレビ和歌山で15秒CMを実施。1日1回、計30本。		科目	予算額	算出根拠		
	「わかやま商工まつり」開催にあわせた集団特定健	経 費	委託費	396,770	CM制作一式		
本年度の	診の開催告知。	見の内					
実施状況		訳					
			合計	396,770			
	変更なし						
前回評議会からの変更点							

<支部医療費適正化等予算関係>

4. 広報意見発信経費 その他の広報

新規追加分

事業名	16 特定健診にかかるラジオ広報の実施				
実施概要	商工会議所主催のイベント「商工まつり」における特実施するもの。 毎年10月に商工会議所と連携し、商工まつりにおし到着のタイミングに合わせて、ラジオ広報を実施し、「	ヽて特	テ定健診を実績	施している。	
期待される 効果	例年、一次案内発送のみでは申込者が目標に達せず、健診間際のが届く時期にラジオ(音声)広報により訴求することで、早期申込に オ生出演が付いているため、健診やインセンティブ制度について詳	とげ、二	二次勧奨の費用や	り、申込者数 や手間を削減	の拡大を図っているが、一次案内 できる。 また、ラジオ広告にスタジ
	新規事業		科目	予算額	算出根拠
本年度の 実施状況		経費の内訳	広告宣伝費	369,600	8,000円×3回/日×14日間×10% =369,600円
			合計	369,600	
前回評議会か らの変更点	実施時期は令和2年8月中旬〜9月中旬の2週間程度 スタジオ生出演(10分間)3回無料。	. 0			

4. 広報意見発信経費 その他の広報

新規追加分

事業名	17	位置作	青報(ミ	シオタ-	ーゲテ	ーイング	グ広	告):	を利	用した	ジェ	ネリック医薬	品に係る対	力果的広報	
実施概要	及び導	延局の き		iに対し	しスマ									和歌山県内の全医療 促進のバナー広告を:	
期待される 効果												合の向上。 より検証する	o		
	新規事	業										科目	予算額	算出根拠	
											経費	広告宣伝費	698,500	ジオターゲティング広告一式456,5 エンジン、LINE広告一式242,000F	00円 検索 円
本年度の 実施状況											りの内訳				
												合計	698,500)	
前回評議会からの変更点	とした	0	薬局和 令和2年						ことで	で医薬	品を加	必要としてい	る者に直接	を利用促進の働きかけ	ること

<支部保健事業予算関係>

1. 健診および保健指導にかかる事務 健診受診勧奨経費

事業名	19 生活習慣病予防健診同時勧奨による新規受診	诊者 0	り獲得		
実施概要	事業所及び対象者個人へ生活習慣病予防健診の案待する。 【事業対象】対象者3~40名、前年度実施率0%、当年 〇事業所:3,112社 〇個人:21,353名 ※抽品 ※H29、30年度と小規模事業所個人勧奨を実施してき 奨の優位性を活かしたいと考えることから、対象者3名 一新した素材(圧着ハガキを予定)とし、個人勧奨用の をすることで受診促進につなげていきたい。	手度 野後、 とたか ろ以_	申込率0%を想 一般健診対 、2年連続ラ Lを事業対象	見定(R1.8.14 象者3名以 長受診者が とし、また、	1抽出) 上(医療法人関係除く) 相当数あり、今回、同時勧 . 勧奨素材を過去のものと
期待される 効果	前年度実施率0%を対象としているため、新規受診者	隻得(こよる生活習	間病予防傷	建診受診率の向上
	新規事業		科目	予算額	算出根拠
		経 費	委託費	1,738,000	圧着ハガキ、デザイン費など
本年度の		見の内			
実施状況		訳			
			合計	1,738,000	
前回評議会からの変更点	変更なし				

<支部保健事業予算関係>

2. 健診および保健指導にかかる事務 保健指導利用勧奨経費

事業名	20	乜	日	•夜	間(の特	定化	保促	建指:	導 <i>0</i>)案内	勺															
実施概要	者特被す(健平客)の世界を	広呆倹・則の図	大建 者 日 定 タ っ 。	図で 導導 (表達) の (一) で	る。 の 家 開 十 19時	対象に 族の 催を設し きのし	者数 設定	対定に定し、開	多保・年で	く、実 建指 目間客を支	実施率導対 ・ 6回間 図る。 部に	率が個 象者 [・] 開催。 に特に て特に	で、保付 管年齢 定保健	次山下建指導 建指導	市を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	対象 実施 Boo !施で	に実 i者を dy測! iきる	施。 対象 定等•	に、付 •)	ķΕ	の特	持定	保優	建指導	草を開	催	
期待される効果	事業所	沂	方問]等	でお	会し	ハで	きた	なか	つた	≿方^	〜の 保	保健指 望	草を実	€施	できる	5 .										
	新規事	事	¥													科目	1	予算	算額				算出	根拠			
														経費	E	別制製	本費	2	242,000) 案	内チ	ラシ、	、企画	画デザイン費			
本年度の														りの内		会場	費	1	32,000) 会	镁場×	2部	曐×6	回			
実施状況														訳		委託	費	2	293,700) 測	定機	器レ	ンタル	レ料			
															É	計		6	67,700)							
前回評議会か らの変更点	委託費	費(こつ	し い つ	て修 	⊹正ま	あり : 	396	5,000	0円-	→293	3,700	円														

<支部保健事業予算関係>

3. その他の保健事業

事業名	25 歯科検診とのコラボによる特定保健指導の	開催			
cts 44- 100 - #	扶養家族の特定保健指導実施率が低く、利用券を 歯科検診を同日に行うことで、特定保健指導の集また、糖尿病予防等に歯周病予防との関連がある 年間3回程度、1回20人規模 和歌山市内で開催す	客につれ	なげたい。 ら、歯科検診		歯周病予防につなげる。
実施概要	平间5回往及、1回20人就接 和歌田刊的飞册准务	<i>,</i>	飞 心足。		
期待される 効果	新たな特定保健指導実施者の拡大につながる。 歯科検診で異常が発見された方の早期受診につな	ながる。			
	新規事業		科目	予算額	算出根拠
		経費	委託費	316,800	歯科検診費4800円×60人
本年度の		の			
実施状況		お訳			
			合計	316,800	
	会場費の計上が不要となったため前回の委託費よ	:り-66,(000円とした。)	
前回評議会か らの変更点					